



中谷さんとZOOMをつないで、博物館の写真を説明していただきました。

づかないことがたくさんあると思います。外国人から見れば、日本の朝鮮人に対する差別の深さは理解できないと思いますし、日本人の多くはそれを意識していないと思います。

◇ポーランドにいるきっかけや、思いを聞かせてください。

小学校六年生のときに講演会で、学者さんがアウシュヴィッツの話をしてくれました。そこでヨーロッパでは「よそ者」という理由だけで数百万人が殺された歴史があると聞かされ、転校経験があった私はショックを受けて、学生時代に旅先として選びました。ポーランドはそのとき、東西冷戦が終わって民主化した頃で、ここで生活



多くの皆さんに参加していただきました。

したらいろいろなことを学べるのではないかと思いました。

◇高校生に一番伝えたいことは何でしょうか。

コロナウイルスのような伝染病や自然災害、経済不況が重なってくると戦争や紛争の原因になります。ぜひ高校生の皆さんには伝染病が社会に与える影響を観察しながら、うまく乗り越えて欲しいです。大人にとって私たちが築いてきた教育の方法が適当だったかどうかの試金石になると思います。

◇立場や国によって、人によって、

歴史の印象は違うんですね。

アジア・太平洋戦争の解釈を巡ってもいろいろとあるように、ヨーロッパも同じです。相手の考え方も尊重しながら平和に繋げていくことが大切で、ヨーロッパでも努力を重ねています。

◇中谷さんがおっしゃった「迫害や差別は人の本質の中にある」。

この言葉を自分自身に問いかけ、自分では気がつかない、ヘイトのような優越感、差別意識を日常気にかけて生きていきたいです。

お話した内容がよく伝わったようで、とても嬉しく思います。

◇ポーランド人のガイドさんは、博物館や敷地内のお店に対して「観光地化して高いお金を取るの、あまりいい気持ちがない」と話していました。年々訪問者も増える中で、観光地化したとしたら、どのように感じますか。

私の同僚のガイドの中には家族や親戚を失った人も多いので、そのような心境になるのだと思います。観光地はいけません、ここ

を訪れやすくする環境づくりは大切です。そうしなければ、歴史を風化させてしまうからです。最初は観光地気分です。最初は見学後の表情は必ずいふん違いです。そもそも人間が立派な生き物であればこのようなことをしないし、ドイツだけに責任を押し付けて終わらせてしまっただけではないテーマだと思っています。

【中谷さんからのメッセージ】
それでは皆さまお元気で。いつの日か北海道を再訪したいと思います！6月29日、ポーランドのオシフィエンチムにて。中谷 剛

8月のゼミ(会場/公民館3階久遠塾)

- しらゼミ(高校生対象) 絵本をつくろう！
8月5日(水) 15:00~16:00
- 志らゼミ(全町民対象) ルールって何だろ？
8月26日(水) 18:15~19:15

くおんじゅく
久遠塾 ☎080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com
ブログ <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>